



森ボラ 通信

森の守護神

第50号 2006年7月20日発行

N P O 法 人 北 海 道 森 林 ボ ラ ン テ ィ ア 協 会

札幌市中央区南2条西2丁目金市館ビル8F

Tel:241-8155 Fax:241-8308

E-mail:h-shinrin-v@indigo.plala.or.jp

URL:<http://www.geocities.jp/hokkaidoforest/>

■トピックス

◆ ホンデュラス報告

若松小学校から伸びる希望の木

～木の里親募金報告 ホンデュラス共和国植林事業 2006～

【日程】2006年6月10日～6月21日

【メンバー】酒井和彦、杉本茂、渡部紀美世、柴田久子

【植林対象地】ホンデュラス共和国インティブカ県ラ・エスペランサ(“希望”という意味の地名)

【現地協力者】ドーラ・バルデビエソ(国立森林科学学校秘書)、キャロル・クロス博士(生態学者)



●きっかけ

千葉市立若松小学校5年生一同からホンデュラスに向けられた「木の里親募金」でした。募金をいただいた時点では、私達はまだ具体的な行動計画を持っていませんでした。しかし、子供達が卒業する前に、子供達の志をどうしても形にしたいと考え、現地の子供達に直接届けることにしました。以下は佐藤久仁子先生から教えていただいた子供達の取り組みの様子です。この素晴らしい自主性、アイデアを知り、改めて預かった募金の大切さを感じました。

5年生は総合学習で環境問題について学習し、熱帯雨林が年々消滅している現実を知りました。なんとか力にならないかと考えました。調べたら北海道森林ボランティア協会の取り組みを知ったのです。自分達の募金がこの国にどんな形で届けられるのかがとても明確でした。本校は、毎年秋にPTA主催のバザーが行われます。そこで、バザーに参加して募金をすることになりました。バザーでは3つの方法で募金を集めました。①学校の裏に森があるので、森で拾ったどんぐりやマツボックリ、木の枝等でブローチ、クリスマスツリー、キーホルダー等を作り、店を出しました。②台所廃油でキャンドルを作ったり、牛乳パックのパルプでハガキを作ってリサイクルの店を出し売りました。③サツマイモの蔓で作ったリースでの輪投げや、ペットボトルでの射的のゲーム屋の店を出しました。どの店も盛況で完売しました。子供達も大変意欲的に準備し、当日も生き生きと地域の人達や他学年の友達と交流ができました。

●サッカー植林

本事業の現地協力者であるアメリカ人生態学者キャロル・クロス博士は、現地に住み森林破壊防止と原住民の生活向上のための様々な支援を行っています。ホンデュラスはサッカーの盛んな国です。本事業の対象地であるラ・エスペランサは小さな田舎町ですが、25チーム400人以上の子供達がサッカーの練習をしています。クロス博士は、指導者誘致などサッカー振興のための援助を行ってきましたが、これからチームの子供達に植林を義務づけるシステムを導入しようと考え、植林技術の指導者を求めています。このシステムがこの地で定着すれば、ホンデュラス全域に広がる可能性があります。私達はこれを事業対象とすることにしました。



植林当日は、チームの指導者と子供達が集まりました。

親達もとても熱心で、器用で丁寧な仕事ぶりに驚かされました。

子供達はとても素直で私達を真似て嬉しそうに、上手に木を植えてくれました。そのひととき、私達は本当の親しみを彼らに感じていました。そして彼らもそう感じていることがわかりました。人と人がふれあうことの喜びをただ無垢に感じていました。植林は、きっと彼らの心に根付くと私達は信じています。

●私達が運んだもの

今回の私達の活動に、札幌を拠点とするプロスポーツクラブから相次いで嬉しい協力を頂きました。コンサドーレからは中古のサッカーボール **19** 個とユニフォーム **7** 着、日本ハムファイターズからは選手の写真入りのボールペン **100** 本をいただきました。また、多くの会員から古着や文具の提供がありました。サッカーボールとユニフォームは、リーグの勝利チームに順次渡されます。ボールペンはインティブカの **3** つの小学校の児童に贈られました。古着と文具は、半分を山奥の貧しい児童に、半分を脳性麻痺の児童のリハビリ施設に届けました。若松小学校の意思は私達の行動を生み、さらに多くの人々の心を引き寄せました。

●若松小学校への報告

帰国翌日の **6月21日**、**4時間目**の授業の時間をいただき、**6年生**になった児童 **121** 名に事業報告をしました。実際の植林の様子とホンデュラスという国の様子について、持ち帰ったばかりの写真とともに説明しました。質問には積極的に手が挙がり、環境への関心の高さが伺われました。『将来、環境省で働きたい。その時胸を張って仕事ができるように、今から環境に関わりたい』、こんな心強い声がありました。『ホンデュラスは貧しいけれど、人々はその中で工夫をして生活していることがわかった。僕達は見習わなければいけない』、短時間で不慣れな説明にも拘らず真実を感じ取る子供の直感に感動しました。事のおこりはただ一つの気持ちから、それが人と人とのつながりで発展してゆくということを児童が感じとってくれたなら、この事業における私達の願いは叶えられたのだと思っています。



児童には現地の大きなマツボックリを人数分届けました。



左の写真、何かわかりますか？これが現地の児童が日常使っているサッカーボールです。お菓子の包み紙などのプラスチック系のゴミを集め、弾力を活用し麻紐でぐるぐる巻きにしてあります。本物のボールを買うお金がないが故の工夫ですが、サッカーの原点を見る思いです。サッカーへのあこがれの塊です。コンサドーレのユース達に見てもらいたくて、コーチに託しました。

(柴田 記)

◆ 二青会 & 森ボラ植樹会

6月24日(土)危ぶまれていた天候も回復、街路樹の梢を渡る風が快い。出発場所である **Sub 新札幌**にはホンデュラス遠征メンバー**3**名が元気な姿をみせ遠征の成果を熱く語ってくれた。現場には乗り合わせ蟬時雨のなか到着。作業は以前植えた場所の草刈りと、今日の植樹場所の整備をしながら二青会の到着を待った。

二青会の方々は、家族を連れ(大人 **16** 名、子供 **11** 名)**10** 時頃到着。早速植樹の仕方を指導した後、イタヤカエデ、ドロノキ、ハルニレ、ミズナラ、等 **108** 本を **1** 時間余かけて植樹する。子供たちも、植樹



の経験のある子が、初めての子に教えあってわいわいがやがや、お父さんやお母さんが我が子と共同作業で一本の苗樹を植えるその姿、側で見ていて微笑ましい風景である。この苗樹が風雪に耐え立派な森を作ると同時に、この子達もすくすく育ち、この森を護って欲しいと願わずにはいられない。

植樹後場所を変え、近くの小野幌キャンプ場で、二青会&森ボラメンバー(**11** 名)で懇親会を開く、料理はバーベキューで肉類と海鮮類ではタラバ、イセエビ、アワビ、ホタテ **etc.**と昨年同様豪華な品揃えでお腹を満たし、樹を、森の未来を語り、次回の植樹会を約し会を閉じた。(山中 記)



■今月の幹事会

7月10日(月)、出席幹事：荻田、酒井、杉本、高野(豊)、西野、棟方、村上(昭)、山中、和田

1 保険 あいおいNPO活動総合保険に加入 森林作業(チェンソー作業を含む)部分のみ

2 オイスカ青山 22日→29日に変更 三井住友対応活動日のため不参加

3 三井住友海上火災(株)の澄川ゴミ出し作業実施(7月29日(土))

大型・重量ゴミ→チルホール操作

4 フリーマーケットの結果と反省

売上11890円、商品不足、音楽鑑賞目的のお客のため、素材に一工夫

5 9月作業計画

一部修正、支笏湖植樹協力を追加

6 セブンイレブン支笏湖植樹協力 7月3日現在で25団体参加表明 計画の1/4

9月23、24日に参加。23日(土)はモーラップでキャンプ

7 ボラ通7月号 記事 ホンデュラス 柴田

二青会 山中

8 助成金不採用の報告

前田一步園 交通費他

全日本冠婚葬祭 ホンデュラス

全労済 交通費他

9 確認 札幌市有林 協議

国有林 計画どおり進行

神宮 神宮山の調整

10 賛助会員勧誘願い

◆ 会員の動向

なし



野幌の担当森林に管理局仕様の看板を建てました。
材料自前調達、木工チームの手作りです。

■おしらせ

◆ 三井住友海上火災(株)との澄川ゴミ掃除合同作業

7月29日(土)10時～14時、年1回実施しております澄川都市環境緑地で道路から不法投棄された森林内のゴミ掃除を三井住友海上火災(株)の社員と合同で行います。最初回に比較しますとずいぶん少なくなりましたが、それでもタイヤ、冷蔵庫、テレビ、布団等々大型ゴミが目につきます。多数の参加をお願いします。

◆ セブンイレブン支笏湖植樹協力のキャンプのお知らせ

○植樹日 9月23日(土 秋分の日)、24日(日)

○宿泊場所 支笏湖モーラップキャンプ場 常設テント(5人用)(調整中)

○費用 2500円～3000円(見込み)

○申込 事務局(241-8155)、山中(764-1646)、柴田(622-7712)

◆アートマーケットに出品のお願い

7月8日(土)に芸術の森でアートマーケットに出店しました。昨年9月に初めて出店して今回は2回目です。今年の9月には3回目の出店をします。杖、靴べら。寄木細工、箸、苗木、原木等を並べました。

今回は昨年9月に出品した時より品数も少なく、売上げも伸びませんでした。もっと沢山賑やかに並べて、お客様にも沢山寄ってほしいと思います、皆様の商品作りのご協力をお願いします。

材料は結構車庫のまわりに積んでありますし、山に入るとちょっと気になる材が目に入ったりもします。皆様の創意、アイデア、ひらめきで何か作ってみてください。また、家に眠っている木工製品がありましたらお店に並べてみてはいかがでしょうか。売れるかもしれません。(杉本則 記)

■活動履歴

活 動 日	場 所	参加人数	活 動 内 容
7/20	澄川	13	歩道整備
7/19	澄川	13	歩道整備
7/15	北海道神宮	10	神宮山下見
7/14	北海道神宮	14	後側林整備、神宮山下見
7/13	有明第二	7	下刈り、歩道整備
7/12	西野第二	6	ニセアカシヤ萌芽刈り
7/8	札幌芸術の森	7	フリーマーケット
7/7	杉本邸	9	フリーマーケット準備
7/6	藻岩国有林	1	間伐
7/5	藻岩国有林	7	間伐
7/3	西野第二	7	ニセアカシヤ萌芽刈り
7/1	リンテージプラザ	16	ホンデュラス報告会
6/30	北海道神宮	5	前側林清掃、枝粉碎
6/29	北海道神宮	8	前側林清掃、枝粉碎
6/28	野幌国有林	13	下刈り
6/26	杉本邸	14	木工、野幌看板調整
6/25	澄川	6	木炭窯開き
6/24	野幌国有林	11	二青会植樹(大人 16、子供 11)
6/23	野幌国有林	4	植樹準備
6/22	澄川	10	歩道整備
6/21	澄川	7	歩道整備
6/20	西野第二	9	ニセアカシヤ萌芽刈り
リンゴ園	6/20、23、27、7/4、7、11、18		摘果作業

■ひとこま



◆ 神宮山の主木←

7月14、15日の両日、神宮山探査。15日のグループは神宮山最大の樹木を主木と決めてきました。樹種はカツラです。

◆ 巣箱でヤマガラが巣立ちました↓

木工で作った巣箱を一個、実家のサクランボの木にかけました。5月半ば、可愛いヤマガラが何やらくわえて頻繁に出入りしているのので、巣作りを確信しました。

5月末、灰色っ

ぽいヒナが顔を出し、6月1日親鳥の強い鳴き声に誘われるように丸っこいヒナが3羽次々に飛び立ちました。親とヒナがお互いの場所を教え合うように鳴き交わし、やがて聞こえなくなりました。自然の営みに間近に接して胸をときめかせた日々は終わりました。これも一個の巣箱のお陰だと思います。来年もまたこないかなー(伊東 記)

